令和３年度　北中城小学校グランドデザイン

＜社会の要請＞
□社会の変化に主体的に対応
□持続可能な社会の創り手（SDGs）
□学習指導要領の趣旨の反映
□社会に開かれた教育課程の実現
□児童が学ぶ意義を実感する環境

＜学校教育目標＞
○思いやりのある子　○よく考える子　○じょうぶな子

＜テーマ＞
自立・全力・社会性　－キャリア教育を土台にして－
非認知能力・コミュニケーション能力・社会貢献・社会の形成者

＜児童の実態＞
○素直、やさしい、人なつっこい
○学力は概ね県平均（学年凹凸）
▲真面目だが積極性に欠ける
▲計画性・自主性・忍耐が弱い
△不登校児童減少・登校渋り増加

＜めざす学校像＞
○安全安心で明日も行きたくなる学校
○授業がわかる、学ぶことの意義を実感できる学校
○地域に開かれ、相互に信頼し信頼されている学校

＜めざす児童像＞
○物事に全力で取り組む子ども
○より良い関係性を築く社会性を身に付けた子ども
○課題解決のためより良く考え、判断する自立（自律）した子ども

＜めざす教師像＞
○常に子どもに寄り添う教師
○子どもと共に活動し、率先垂範できる教師
○プロ教師を自覚し常に学び続ける教師
○同僚と協働で課題に立ち向かう教師

「何を学ぶのか」
教育課程編成

「何ができるようになるか」
資質・能力

「どのように学ぶのか」
授業改善

重点取組事項

＜適切な教育課程編成＞
○学校評価に基づく教育課程編成
○連続した評価・改善（都度評価）
○スクラップ＆ビルド
○学習指導要領の趣旨に基づく授業
指導内容の厳選と指導方法の研究

＜確かな学力の向上＞
○授業改善＝「わかる授業」の構築
キャリア教育の視点＝学びの文脈等
○諸調査の分析と活用
○日常的な授業参観と指導助言（OJT）
○系統だった校内研修　○家庭学習

く豊かな心＞＜健やかな体＞
○学年・学級経営の充実
「特別活動」教育活動全体の道徳
○自己存在感、共感的人間関係、自己決定の場（生徒指導三機能）を生かす
○基本的生活習慣、いじめ・不登校対応

＜特別支援教育の充実＞
○個に応じた指導の充実
○校内支援体制の充実
○教育支援委員会の活用
○関係機関との連携

＜信頼と協働＞
○「チーム北中城」の理解と機能化・マネジメント
○課題への組織対応
○北中ドリーム７の徹底

＜コンプライアンスの徹底＞
○同僚性・人権意識の醸成
○計画的なコンプライアンス研修
○場に応じた服装・言語環境を整える

＜働き方改革の推進＞
○業務改善
○ICT機器等の有効活用
○各部会などの見直し
○学校行事検討会議

統一・徹底・連動・評価・改善

＜指標＞
児童の変容：学校評価、全国学力学習状況調査等諸調査、児童のノート、様子、感想、北中教委「ドリーム７」、北中城小アクティブ１０